

ラオス物流概況



2024年3月22日

日本貿易振興機構(ジェトロ)
ビエンチャン事務所

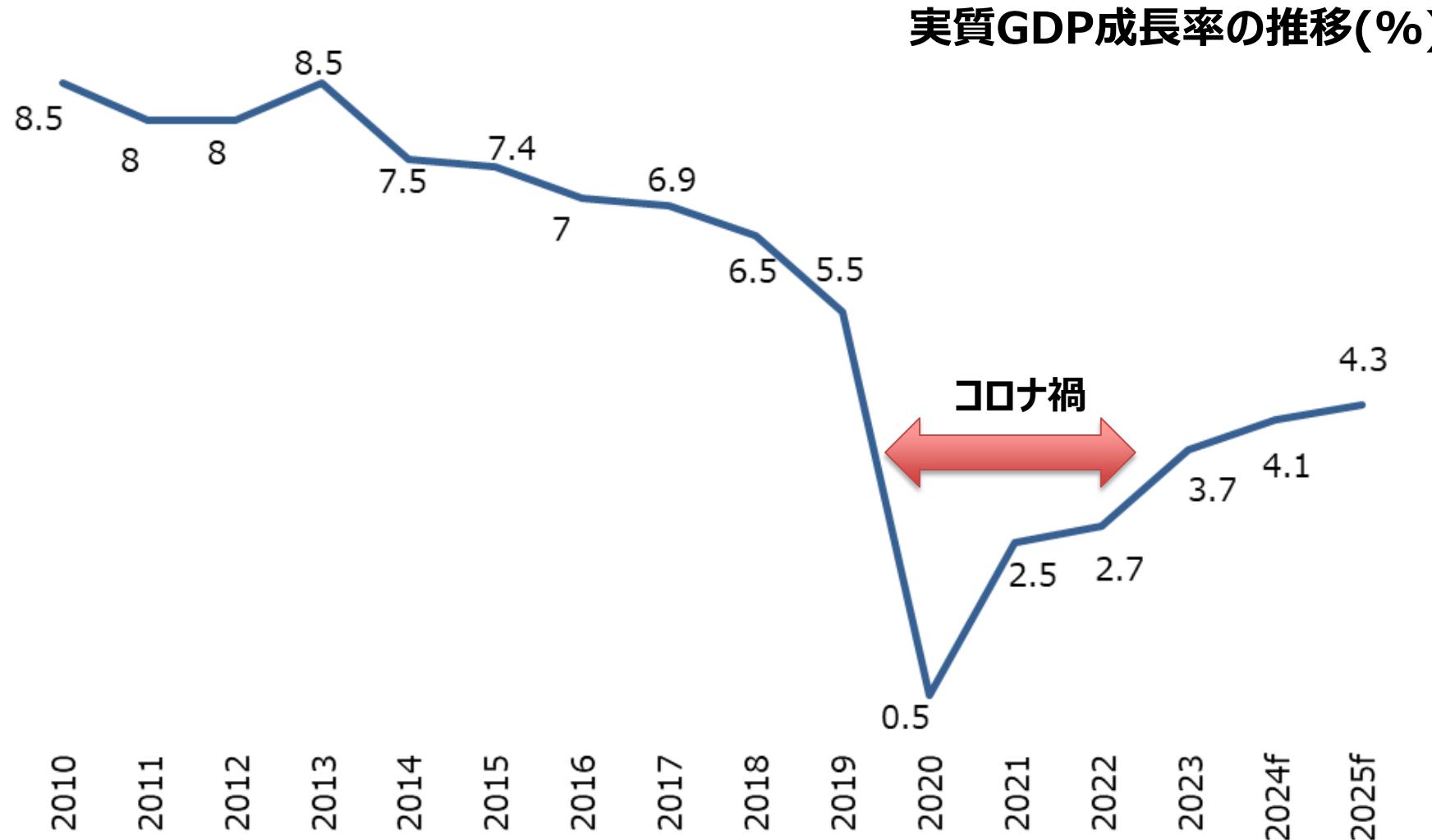
JETRO

ラオスの一般概況



人口	約744.3万人（2022年）（埼玉県に相当）
面積	23万6,800km ² （日本の本州に相当）
首都	ビエンチャン（Vientiane） (人口：約98.9万人:2022年)
民族	公式にはラオ族をはじめ計50民族
公用語	ラオス語
宗教	上座部仏教65%の他、精霊信仰、キリスト教など
通貨	キープ /kip
政治体制	人民民主共和制、一院制（164名） 国家主席：トンルン・シースリット 首相：ソンサイ・シーパンドーン（22年12月就任） ※5年ごとに選挙を実施（2021年2月）
GDP	GDP 192兆1450億キープ（約113億ドル） GDP割合 農業17.5%、工業34.1%、サービス37.1% (2022年)
国家予算	歳入38兆4480億キープ（約20億ドル） (2023年)
インフレ率	2.04% (2018) 3.28% (2019) 5.07% (2020) 、 3.75% (2021)、22.96% (2022) 、31.23(2023)





(出所) 世銀、East Asia and Pacific Economic Update 2012,2013,2014,2015,2016,2017,2018,Lao Economic Monitor 2017, 2018,2019,2020,2021,2022,2023
 COVID-19 to Impact Lao PDR Growth, Debt in 2020: New World Bank Report, IMF : World Economic Outlook Database, EAST ASIA AND THE PACIFIC ECONOMIC
 UPDATE 2022,2023,2024
 (注) 2024以降は見通し

ラオスの品目別輸出入 単位:100万ドル

	輸出(FOB)					輸入(CIF)				
	2021年		2022年			2021年		2022年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率	
電力	2,168.82	2,357.75	28.8	8.7	農畜産物・食品	988.97	1,183.81	17.4	19.7	
鉱物	1,944.14	1,943.25	23.7	-0.0	機械・電子機器および部品	950.78	1,105.91	16.2	16.3	
農畜産物・食品	1,760.53	1,925.70	23.5	9.4	化石燃料	739.94	1,306.35	19.2	76.5	
木材・木製品・パルプ・紙	901.79	916.67	11.2	1.6	車両および部品	716.94	692.78	10.2	-3.4	
工業製品	525.61	598.51	7.3	13.9	鉄および鉄製品	288.98	290.21	4.3	0.4	
縫製・靴製品	315.18	446.06	5.4	41.5	電力	80.09	40.13	0.6	-49.9	
その他	10.83	10.08	0.1	-7.0	その他	2,121.63	2,188.86	32.2	3.2	
合計(その他含む)	7,626.92	8,198.02	100.0	7.5	合計(その他含む)	5,887.33	6,808.06	100.0	15.6	

主要輸出品目

鉱物資源（金・銅、カリウム等）、電力、パルプ、農産物
主な輸出先はタイ、中国、ベトナム。
欧州向けには縫製品が輸出されている。
近年電子部品などの工業製品や農産物も増加。

主要輸入品目

電気機械、建設資材等。主にダムや鉱山開発などに使用
される。主な輸入元はタイ、中国。

〔注〕商工省統計

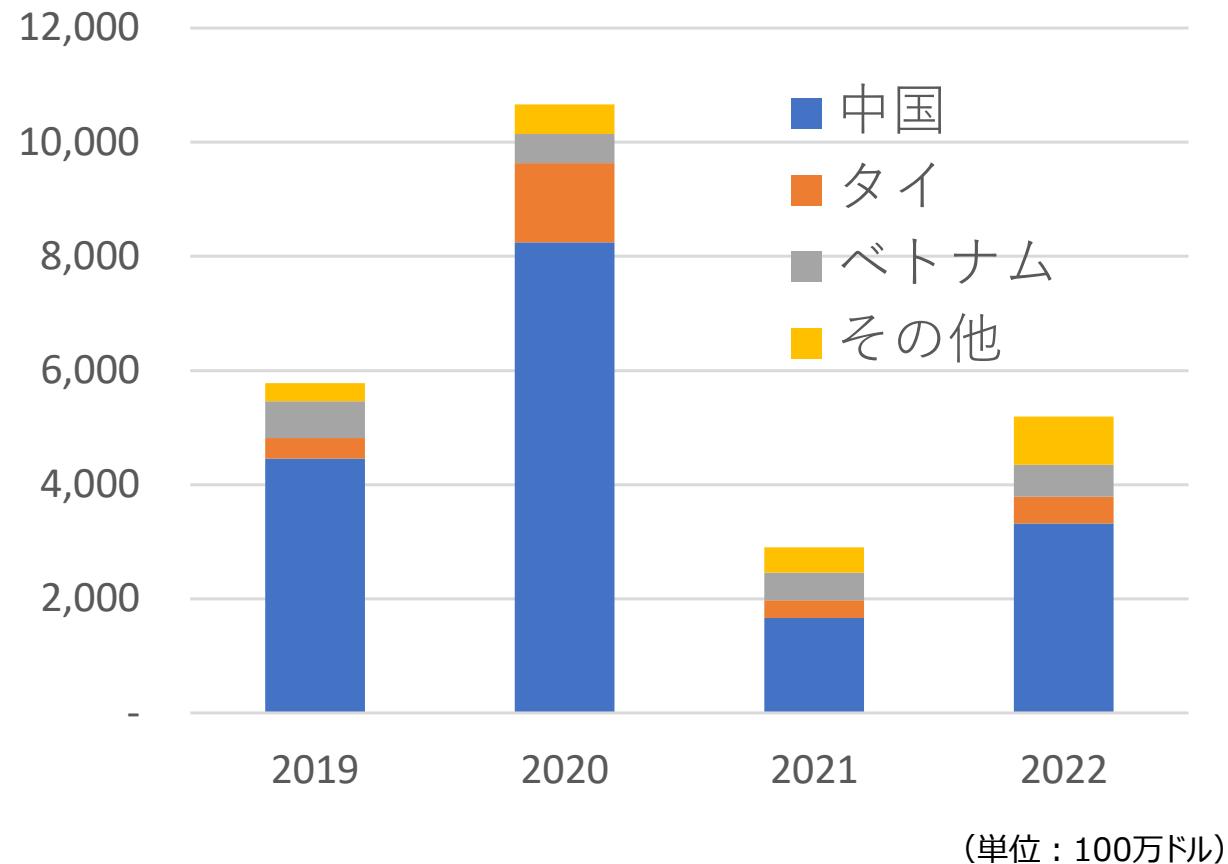
貿易収支

電力輸出増加により黒字化
ただし30%しか着金せず

日本向け輸出

22年は1億3180万ドル(59%増)で特に日系製造業が生産する靴製品3,100万ドル(50%増)、電子部品1,780万ドル(21%増)、縫製品1,560万ドル(11%増)などはコロナ禍から回復。

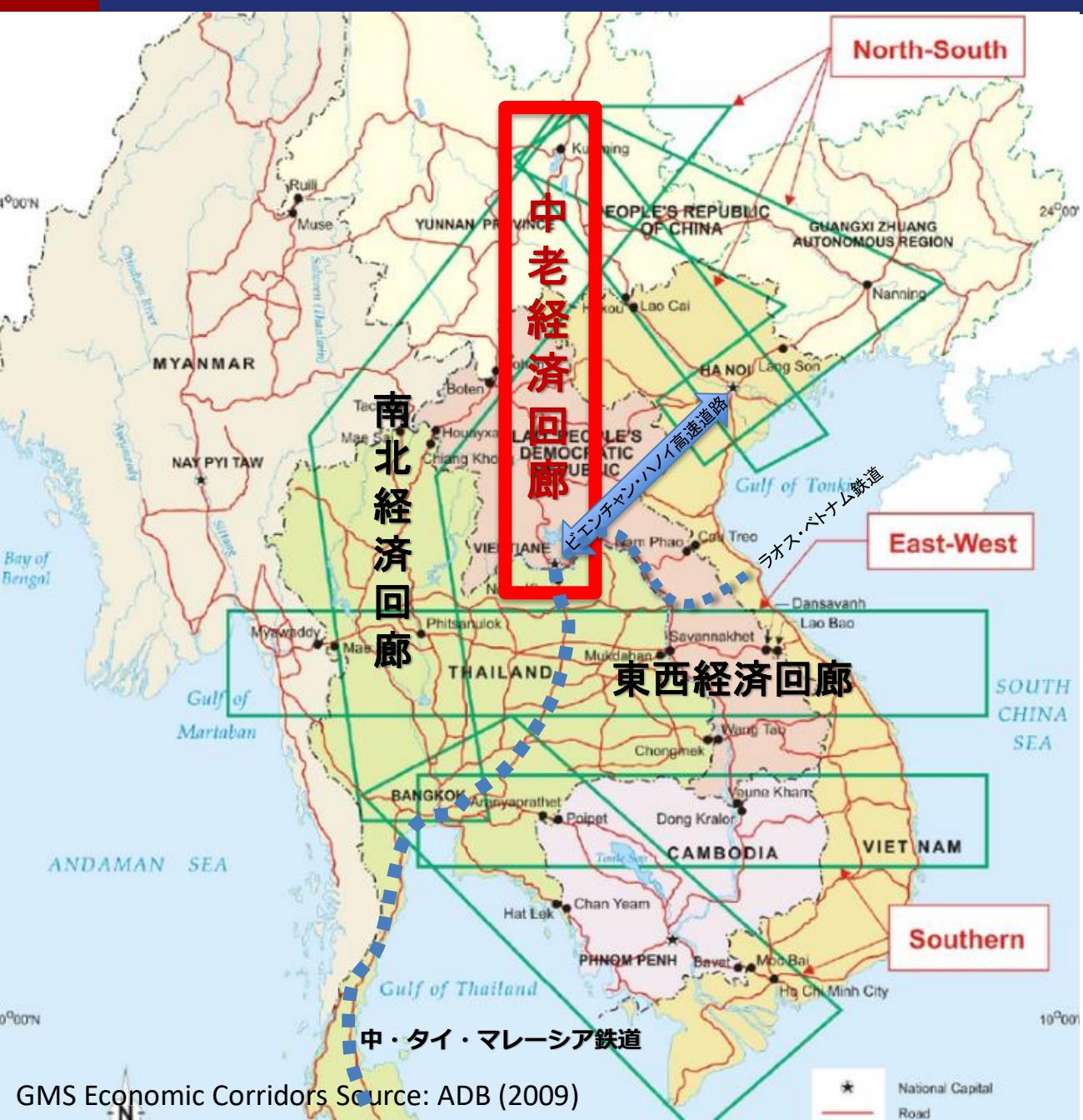
ラオスの国・地域別外国直接投資（2019-2022年）<新規登録ベース、グロス>



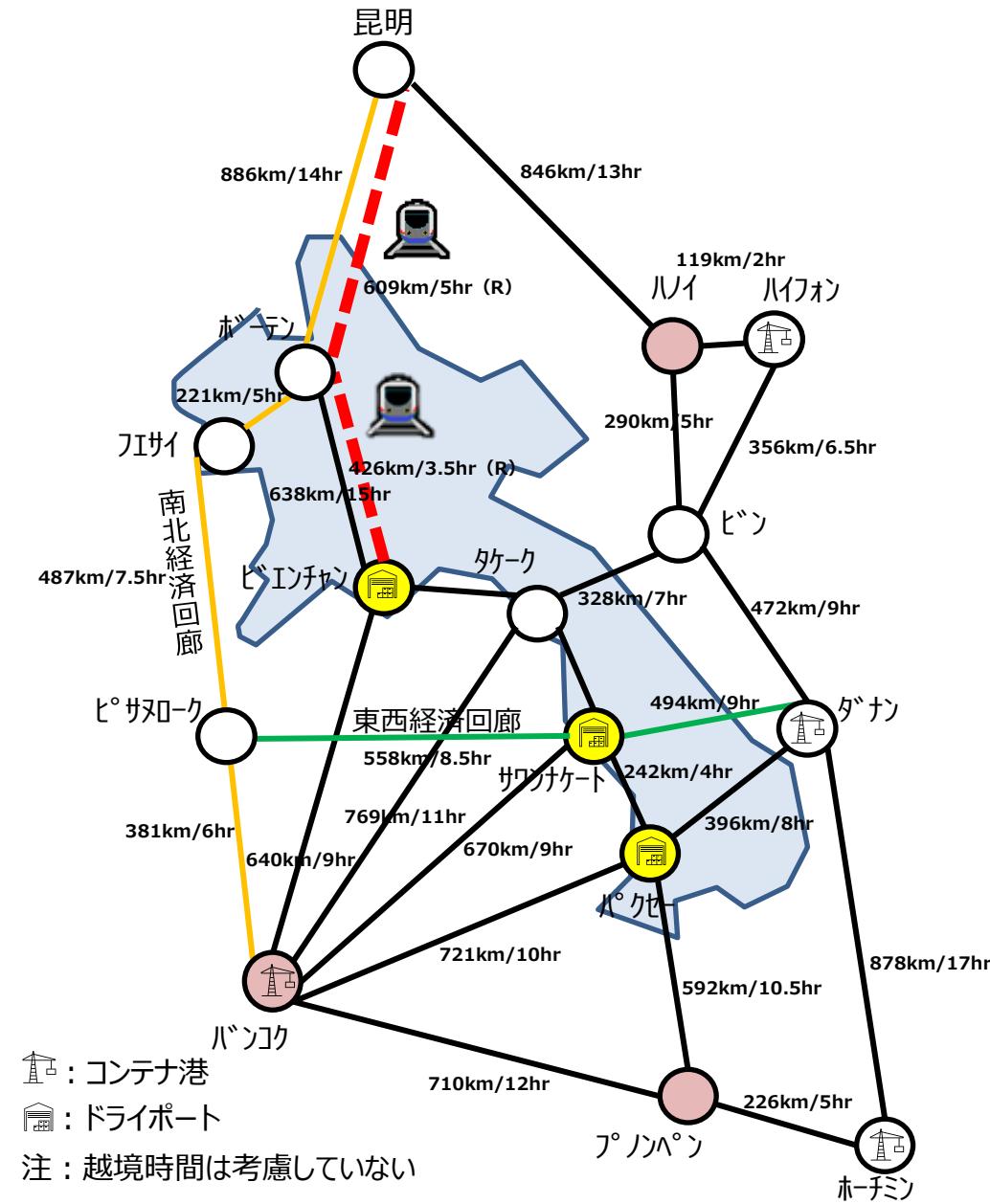
〔出所〕ラオス商工省企業登録管理局

中国からの投資

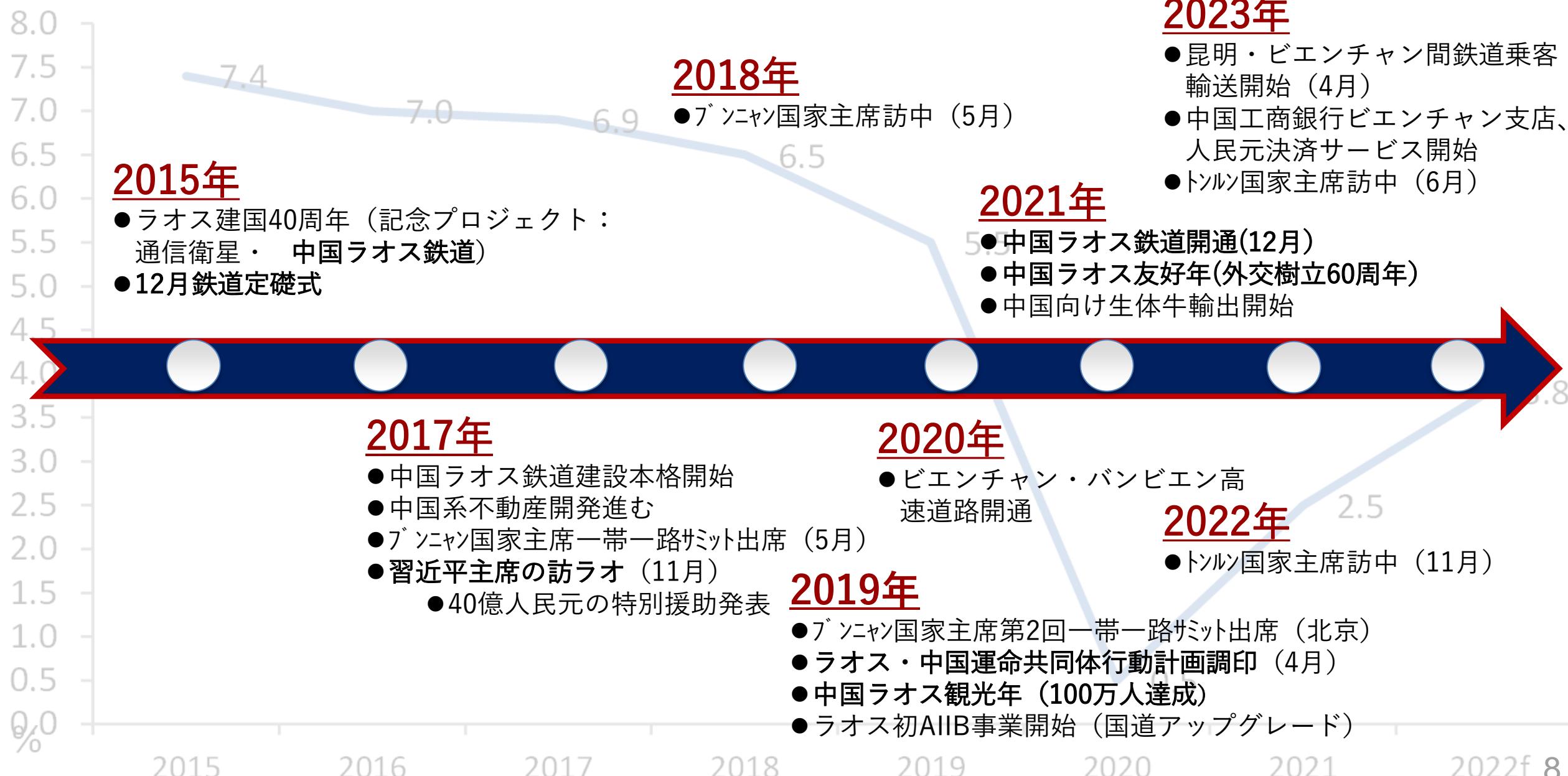
- 外資としては突出して1位
- 2000年頃から鉱物、植林、農業、水力分野への投資
- 2010年頃から不動産投資、経済特区開発
- 近年は農業（熱帯果物、畜産）、製造業（太陽光パネル、縫製業など）が増加



- ラオスはGMS経済回廊構想において、南北経済回廊、東西経済回廊の要所
- 中国ラオス鉄道の開通により新たに中老経済回廊の建設が進んでいる
- さらに中タイ鉄道、ラオス・ベトナム鉄道、ビエンチャン・ハノイ高速道路などが計画される。



- 全国の国道整備、高速道路整備が進む
 - 中老鉄道（21年12月開通）、タイ鉄道カムサワート駅完成（23年中開通）
 - タイ・ラオス第5友好橋（24年初旬に開通）
 - 交通の要所に経済特区を開発、鉄道沿線ベルト開発
 - ドライポート開発：9か所で認可済。3カ所で稼働
 - ①サワンナケートDP（2016年稼働）
 - ②タナレーンDP（2022年稼働）
 - ③ワンタオDP（2022年稼働）
 - ④タケークドライポート（建設中）



- ・昆明駅からビエンチャン駅までの1035km
- ・ラオス区間426km（単線）
- ・中国区間609km(景洪～モーハンは単線)
- ・中国側11駅、ラオス側11駅を新設
- ・設計速度は時速120km/h（貨物）、
- ・160km/h（乗客）、将来は200km/hも対応
- ・レール幅は標準規：1,435mm



●貨物輸送

- ・昆明・ビエンチャン間は24時間以下に短縮。
- ・中老鉄道国境協定では国境駅で機関車/乗務員の交代が必要



●乗客輸送

- ・高速列車では乗客輸送は1日2便（ビエンチャン↔ボテン、ビエンチャン↔ルアンパバーン）+国際高速便1便+普通列車1便
- ・中老鉄道国境協定では昆明まで走行可能
- ・コロナ禍で国内サービスのみであったが、2023年4月13日から国際線スタート（昆明南-ビエンチャン）



表 中老鉄道の計画と実績

年	旅客 (万人)			輸出入貨物 (万トン)	
	計画	実績	うち越境	計画	実績
2022*	450	889 (中749,ラ140)	-	160	246/20.7億ドル
2023	700	2500	10*	240	421.8
2024	900	280(1月)	8 (Q1)	340	138(Q1)

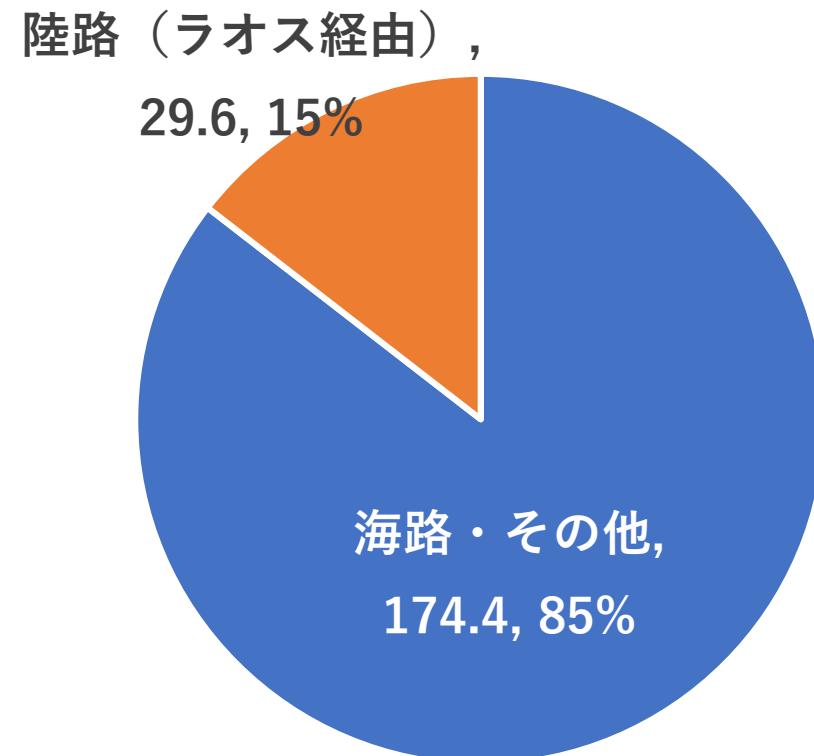
計画は雲南省「中国-ラオス鉄道の維持・運営と沿線開発・建設のための習近平総書記の重要な演説の精神を実行する3ヵ年行動計画（2022年2月）」

*乗客による越境は2023年4月から開始

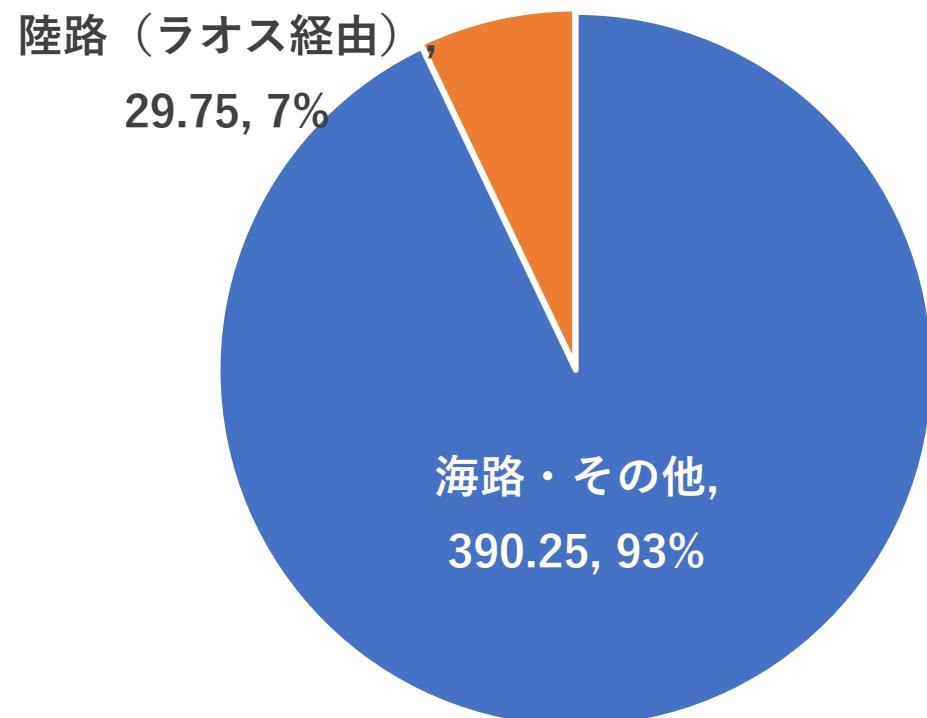
*2022年実績は21年12月3日～23年1月2日までの実質13か月間のデータ/データは報道ベース

- 昆明税関統計によると2022年の中国ラオス鉄道を介した輸出入は140.2億元（20.7億ドル）、うち**中国からの輸出が99.4億元（14.7億ドル）>輸入が40.8億元（6億ドル）**

タイ→中国 (2023.1-7月)



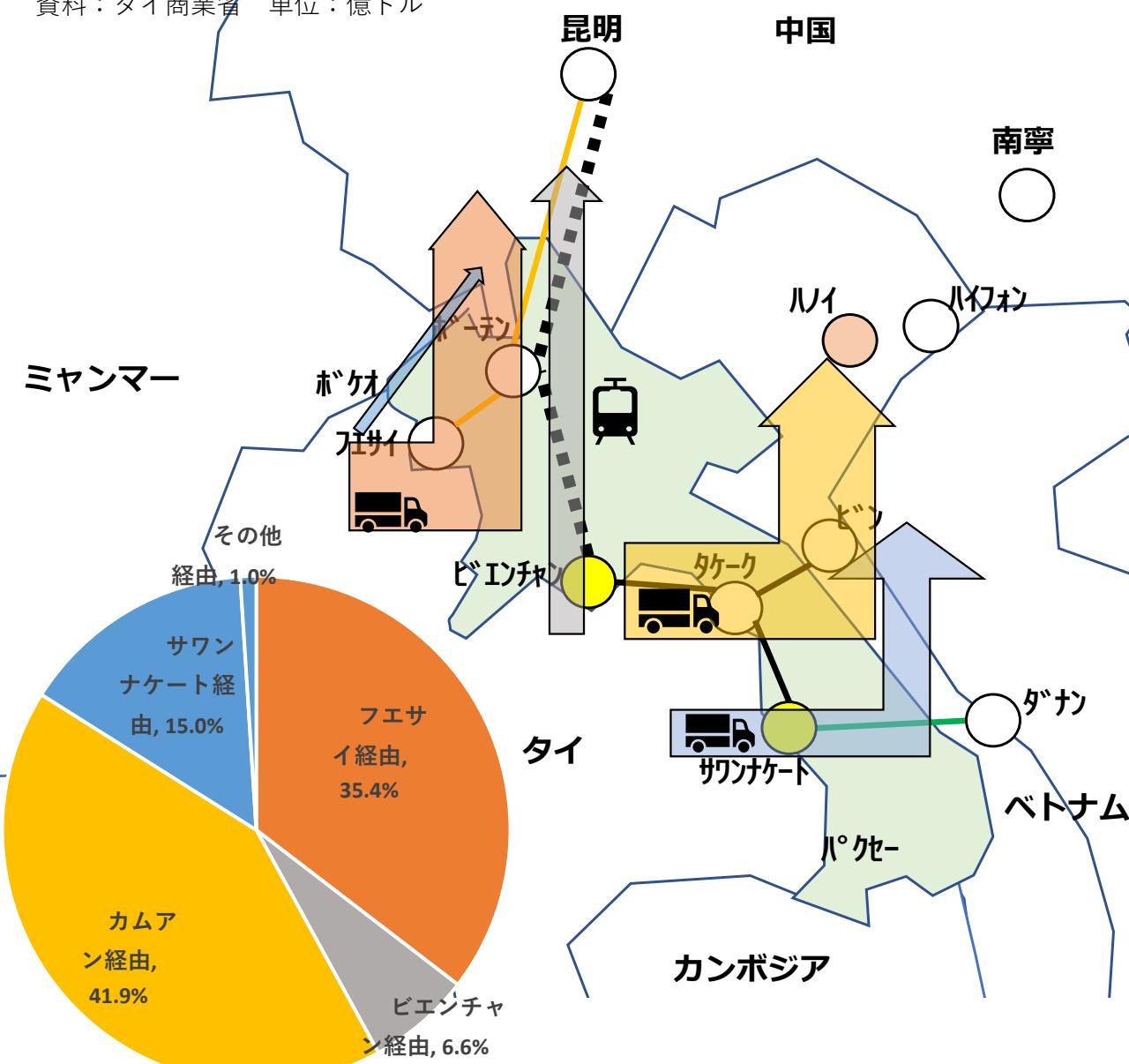
中国→タイ (2023.1-7月)



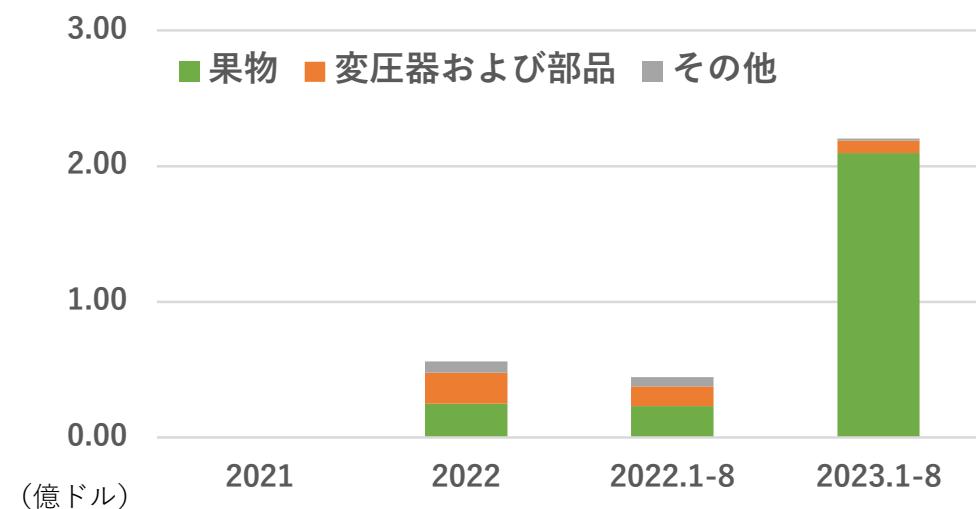
※タイから中国への輸出総額は204億ドル（2023.1-7月）（タイ商務省）

※中国からタイへの輸出総額は420億ドル（3071億元）（2023.1-7月）
中国通関統計

資料：タイ商業省 単位：億ドル

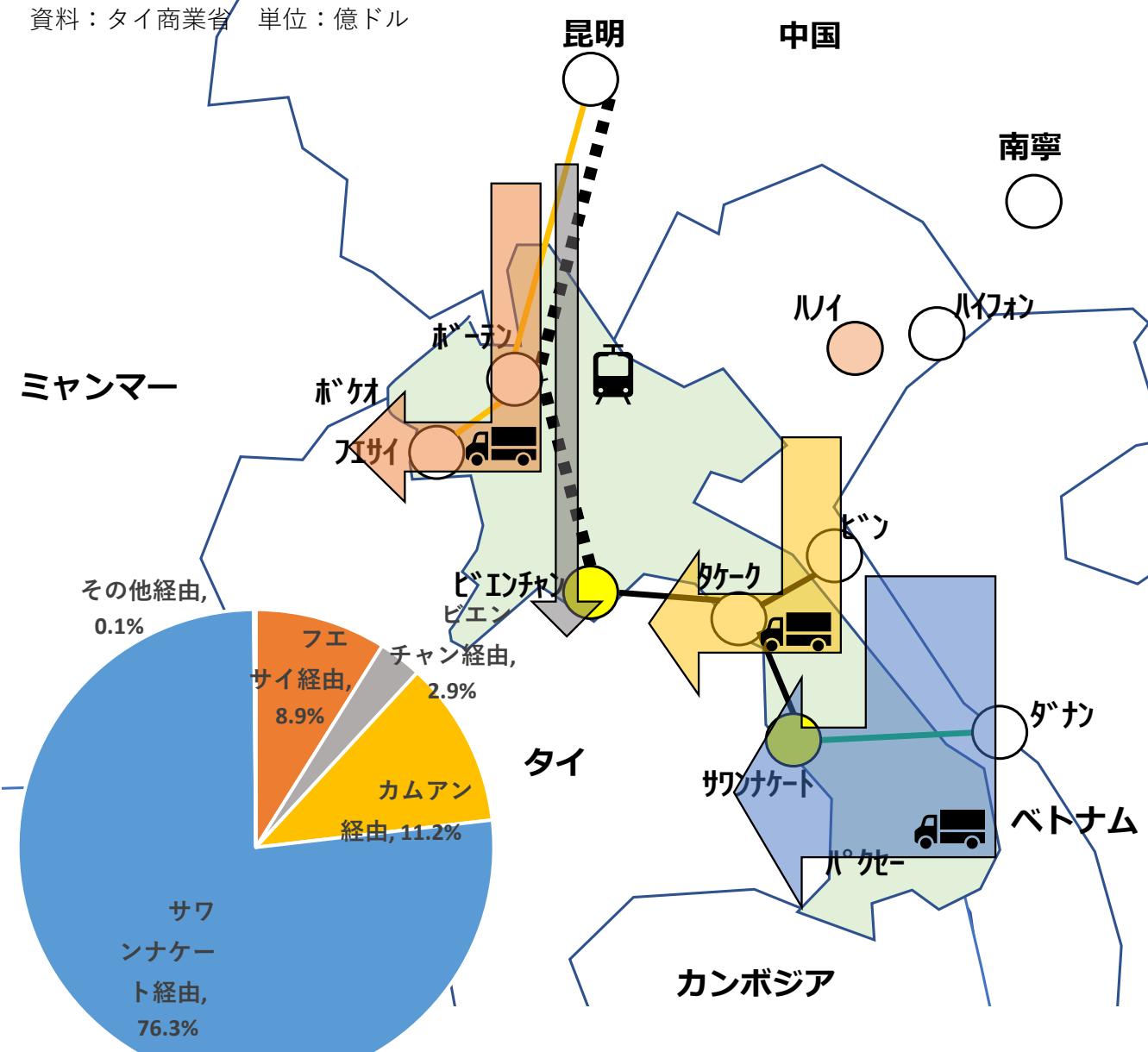


第1友好橋を経由したタイから中国への輸出（中老鐵道）（2021-2023.8）

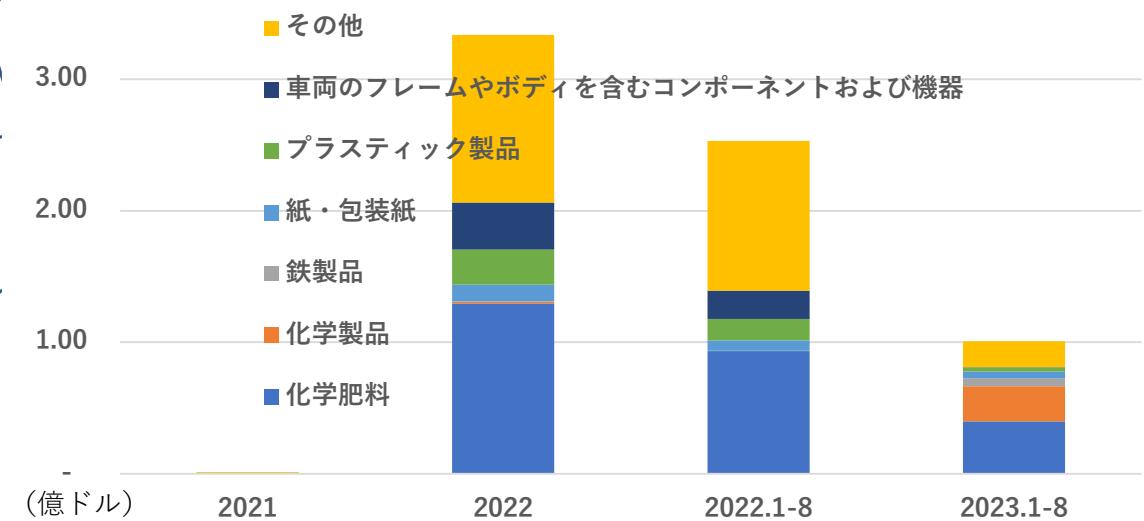


22年12月3日より中国モーハン駅での植物検疫スタートしたこと
タイ産リュウガン、ドリアンなどの一貫輸送が開始

資料：タイ商業省 単位：億ドル



第1友好橋を経由した中国からタイへの輸出（中老鉄道）（2021-2023.1-8）



主要駅周辺開発

駅	開発計画	デベロッパー
ビエンチャン駅	包括的ロジスティクスセンター、加工工業や農産品生産拠点	
バンビエン駅	環境にやさしい自然観光センター	
ルアンパバン駅	世界遺産都市の観光業、商業/住宅開発	
ムアンサイ駅	ラオス北部の工業化の拠点とロジスティクスセンター開発	
ナトウイ駅	農業、工業、スマートシティ、物流	

資料：2020年12月15日付 ビエンチャンマイ紙、
2020年12月15日付 クワームサゴップ紙

【鉄道】ビエンチャン首都周辺

JETRO



ボーテン経済特区



南北経済回廊との接続

JETRO



【参考】ラオス南部・カンボジアとの接続

- ・パクセー・プノンペン間はおよそ590km(パクセー・バンコク間721km、パクセー・ダナン間396km)
- ・ラオス南部パクセーとプノンペン間のインフラ整備が進んでおり、両区間ともに道路は舗装され路面状態は一部工事中および損傷力所あるものの比較的良好。
- ・シアヌークビル港ターミナル拡張も急速に進んでいる。
- ・現状では両国間の貿易量は限定的で2023年のカンボジアからラオスへの輸出は476万ドル、ラオスからカンボジアへの輸出は2億ドル(うち93%は電力)。



小口配送

- 2019年ごろからEコマースの浸透もあり国内小口配送会社が増加
ラオス企業のHAL Express, MX Express、タイのFlash Expressなど
- HAL Expressは360支店のネットワークを全国に構築済み。
- 全国の都市部の80%をカバー
- タイや中国からの小口配送にも対応
- ラスト1マイルはこれから

タクシー

- 個人経営のトゥクトゥクが中心であったが、LOCAによるモバイル配車サービスが普及
- 韓国系電気トゥクトゥクやベトナムVinfast (EV)などが参入

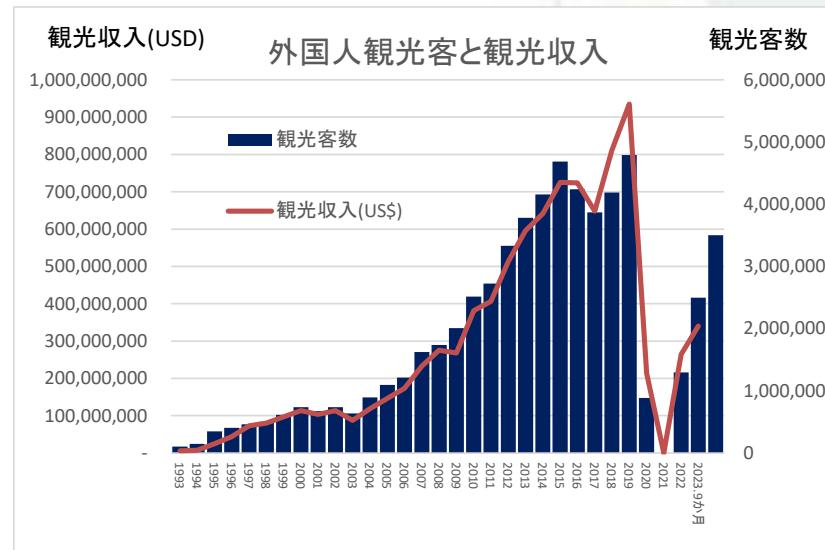
フードデリバリー

- Food Pandaなど複数のスタートアップが参入。コロナ禍で利用が急増。



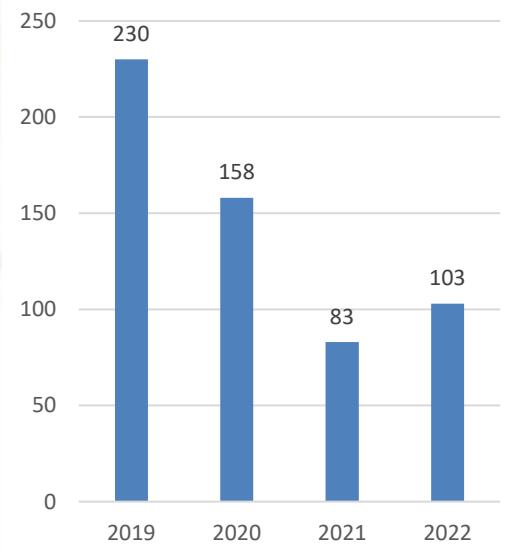
(出所) 各種資料をもとにジェトロ作成

- ラオス観光庁はラオスのキャッチフレーズを「Laos, Jewel of Mekong」と定め、様々な観光促進活動を実施。
- 2018年ラオス観光年、2019年ラオス中国観光年（100万人達成）を実施、2024年はアセアンサミット議長国に伴いVisit Lao Yearを実施
- 2020年のコロナ禍により3月より鎖国。観光客は88万人に激減。国内観光促進「ラオ・ティアオ・ラオ」（ラオス人がラオスを旅する）キャンペーンを実施。
- 2022年1月から外国人観光客受け入れ開始、5月9日から完全開国。2022年として実績は129万人、観光収入2.6億ドル。国内観光客は103万人。
- 東南アジアで最も魅力的な国（フォーブス誌）、アジアで訪れるのに最適な場所の1つ（Fodor's Travel誌）、Google検索で頻繁に検索される10か国（Betway）、2023年に訪れるべき世界のトップクラスの場所の1つ（タイム誌）



No	国	訪問者数	増加率
1	タイ	2,160,300	11.9%
2	中国	1,022,727	26.9%
3	ベトナム	924,875	6.6%
4	韓国	203,191	16.5%
5	アメリカ	61,184	24.4%
6	フランス	44,416	13.0%
7	日本	41,736	7.1%
8	イギリス	31,976	19.3%
9	カンボジア	28,342	49.9%
10	マレーシア	28,321	8.9%
11	ドイツ	25,346	10.6%
12	オーストラリア	24,750	26.2%

表 国別訪問者数(2019)
資料：Statistical Report on Tourism in Laos



国内観光客数 資料：情報文化観光省



日本貿易振興機構（ジェトロ）ビエンチャン
 菊池保志(所長)、山田健一郎
 TEL : +856-21-454774
 FAX : +856-21-264173
http://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/la_vientiane/
 Email : LVI@jetro.go.jp
 4th Fl., Vieng Vang Tower, Boulichan Rd., Dongpalan Thong
 Village, Sisattanak District, Vientiane, Lao P.D.R.



【ご注意】

本資料は参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

ジェトロは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本資料の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失についても、一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。